

## エコ ツアーガイドのガイドライン



知床のエコツアーガイドは、知床の素晴らしさや、ルールを伝えていく役割を果たします。また、ガイド活動を通して、地域社会と自然環境の保全に貢献していきます。

### 環境のために

自然環境に配慮したツアー運営と参加者への指導を行います。野生動物への餌やりをしない、動植物を採取しないなどのルールを一般利用者も含めて指導します。



### 安全のために

ヒグマとの遭遇を避ける配慮と対処法を伝え、遊歩道に飲食物やベツを持ち込まないよう指導します。参加者数は概ね10~15人までとし、安全管理マニュアル、緊急時連絡網を作成し、賠償責任保険にも加入します。



### 伝えること

自然に関することはもちろん、世界的に貴重な生態系を残す地域であること、地域文化・歴史などについて、さらには利用時の自然環境への影響の軽減と保全についても伝えます。



### 知識・技術

救命救急、ガイド技術などの講習会に参加し、知識・技術の向上に努めます。また、新人ガイドへの教育、指導を行います。



### 遊歩道の利用に当たって

他の利用者の通行の妨げにならないよう配慮し、同時にツアーを実施する他のガイドと連携し、スムーズな遊歩道利用が行えるよう努力します。

知床エコツーリズム  
推進協議会  
Shiretoko Ecotourism Association



## 世界自然遺産登録地 知床を旅する皆様へ

皆様一人一人の心掛けが、今ある知床の自然を守ることにつながります。

ガイドツアーに参加されない方も含めて、遊歩道や登山道を散策する際には、自然ガイドの指示に従ってください。

また、お皆様ご自身でも、貴重な自然に接する際のルール・マナーの遵守をお願いします。

知床から  
エコ  
ツー  
リズム

### 関係機関 お問い合わせ先

知床ガイド協議会  
http://www.shiretoko-guide.net/ ☎ 0153-87-3473

知床斜里町観光協会 ☎ 0152-22-2125

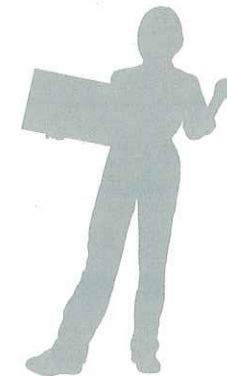
知床羅臼町観光協会 ☎ 0153-87-3360  
http://www.rausu-shiretoko.com/

(財)知床財団 ☎ 0152-24-2114  
http://www.shiretoko.or.jp/

ホームページ <http://www.shiretoko.or.jp/04ecotourism.htm>

## 知床エコツーリズムガイドライン Shiretoko Ecotourism Guideline

ECOTOURISM  
GUIDELINE



知床ではエコツーリズム推進のために、自然体験プログラムを実施する際に守るべきルールを定めています。これにより、安全管理や自然環境への配慮が徹底された質の高いエコツアーの提供を目指し、あわせて一般の方にもルール・マナーの遵守をお願いしております。



このパンフレットは、エコ比率100%(古紙100%)の再生紙と大豆インキを使用しています。



知床エコツーリズム推進協議会  
Shiretoko Eco-tourism association

## RULE



## 各プログラムに対する ガイドライン

知床で行われている主な自然体験プログラムについて、それぞれの特性に応じたガイドラインを策定しています。

※以下のルールは抜粋したものです。

### フレペの滝でのガイドプログラム

#### Furepe Waterfall

開拓時代の営みと、自然の豊かさを利用者に伝える少人数のエコツアーを実現します。コースの起伏が少なく所要時間も短いことを活かし、体力が無い方を含めた幅広い層に知床の素晴らしさを伝えていきます。



#### ▼ ルール

- ガイド1人が案内する参加者数は概ね15人までとします。
- 展望台～フレペの滝上部の柵の外に一般利用者が出ている場合は、すぐに戻るよう指導します。

### 知床五湖でのガイドプログラム

#### Shiretoko Goko Lakes

常態化している知床五湖の混雑状況を改善し、開拓時代の営みと、知床の自然の豊かさを利用者に伝える少人数のエコツアーを幅広い層を対象に実現します。



#### ▼ ルール

- 遊歩道内は見通しが悪いので、ヒグマとの突発的な遭遇などに十分注意します。
- ガイド1人が案内する参加者数は概ね10人までとします。

#### 詳細ルール

ガイド協会による五湖のガイド利用の詳細ルールがあります。

<http://www.shiretoko-guide.net/rule/goko-rule.htm>



### 羅臼湖でのガイドプログラム

#### Lake Rausu

高山帯の湿原植生など、知床の核心地域の魅力を存分に味わうことができますが、脆弱な環境であるため、いっそうの配慮が求められます。特に自然に対して関心が高く体力がある層を対象にして、少人数のエコツアーを実現します。



#### ▼ ルール

- 入口近くの道路に車両を駐車せず送迎を行います。
- 飲食物を持ち込む場合は、ヒグマ等を誘引する原因とならないように取り扱いに十分注意し、参加者にも徹底させます。
- 歩道の拡張を防ぐために、利用者も含めて、長靴等の着用をできる限りすすめ、歩道を外れないよう指導します。
- ガイド1人が案内する参加者数は概ね10人までとします。
- 参加者には事前に高山帯の厳しい環境であることを伝え、防寒具・雨具などの携行を義務付けます。

### 夜間における動物観察プログラム

#### Night Animal Watching

静寂が守られた夜の国立公園内において、幅広い層を対象に少人数のエコツアーを実現し、昼とは違った夜間の野生動物の生態を伝えます。



#### ▼ ルール

- 野生動物に影響を与えるような強力なライトや拡声器の使用はしません。
- 野生動物に接近した状態でライトを照らしません。
- 各車両がお互いに近接しないよう配慮します。
- 車外に出る場合はヒグマとの遭遇の可能性などを考慮し、安全管理に十分配慮します。

### 流水上でのガイドプログラム

#### Sealice Walking

流水は、知床の生態系の多様性を支える重要な役割を果たしており、世界遺産登録の理由の一つともなっています。知床は、この土地ならではの自然資源を活用した流水上でのガイドプログラムを他地域に先駆けて確立した地域であり、他地域のモデルとなることを目指して、安全管理を徹底し、景観に配慮した少人数のエコツアーを幅広い層を対象に実現し、知床の自然の奥深さ、雄大さを伝えます。



#### ▼ ルール

- ガイド1人が案内する参加者数は概ね10人までとします。
- 参加者全員にドライスーツ、防水グローブ、帽子を着用させ、事故を防ぐために装備の保守点検を行います。
- 他の旅行者に対して注意を促す看板を立て、その場所から出入りします。
- 事故を防ぐために、チャシコツの先端から、プユニ岬の先端を結んだ範囲内(陸上から目視できる地点)で行います。
- 夜間のツアーは行いません。
- ツアー中、ガイドはレスキュー機材を携帯します。
- ツアー中、気象条件等により危険が予測された場合は、速やかに陸に戻り、その際付近のガイドにも危険を知らせます。
- 流水に乗っている一般人を発見した場合は、速やかに状況を確認し、必要がある場合は陸地までエスコートします。また、海に落ちた人を発見した場合は、速やかに警察への連絡と、可能な限りのレスキューを行います。
- 年に1度、レスキューの訓練を実施します。

\*当ガイドラインの全文については下記をご参照ください。

[http://www.shiretoko.or.jp/04eco\\_tour/eco\\_pdf/guideline.pdf](http://www.shiretoko.or.jp/04eco_tour/eco_pdf/guideline.pdf)